

## 令和3年度 産業イノベーション創出支援事業 採択案件が決定しました！

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会では、産学官連携等による事業化の実例・成功例を創出し、地域経済の更なる発展と地域産業の振興を目的とした各種事業を実施しております。

本事業はその一環として、市内の事業者や高等教育機関が開発する新たな商品やサービス、技術等について、それまでのモノや仕組みに対し、新しい発想や技術を取り入れることで、新たな価値の創造、社会や暮らしへのよりよい変化をもたらし、新産業の創出、地域産業の活性化に貢献することが見込まれる取組みを公募し、委託による資金補助や産学官連携コーディネータによる進捗管理など、事業化に向けた総合的な支援を行っております。この度、次の件が採択されましたので、お知らせいたします。

### ◆令和3年度採択案件一覧【採択件数：8件】

※記載は実施者名の五十音順です。

	実施者	事業名	事業概要
1	医療創生大学	新たな大腸がんモデル細胞株の実用化開発	大腸がんへの治療や創薬に資する新たな大腸がんモデル細胞株を実用化開発する。大腸がん発症及び抑制因子を欠損したモデル細胞株は、学外ベンチャー企業との連携による最新のゲノム編集技術による遺伝子改変により作成した。本事業では、これらモデル細胞株の性状を明らかにする事で製品化し、産学連携拠点を確立する事で、いわき市へのベンチャー企業誘致と地域経済の活性化を目指す。
2	一般社団法人 いわきバッテリー バレー推進機構	無給電 EV 技術の進化&深化による課題解決型モビリティサービスの提供事業	太陽光発電と自走発電といった複数の異なるエネルギーを一元的に充電・利用する「エナジーハーベスティング技術」を用いた「無給電で走行可能な車両」の利活用促進や産業振興・人材育成につながるようなモデルを検討・構築・実践する。その成果を、更なる技術・車両の商品開発の進化・深化や、課題解決寄与度向上のシステム改善につなげ、将来的には、真にCO <sub>2</sub> フリーなモビリティとして、システムとセットで市場展開を図る。
3	株式会社 品川通信 計装サービス	医療系機器組込用低出力レーザーマーキングユニットの開発	病理細胞診断業務向けのスライドガラスプリンタではスライド1枚1枚に患者等に関する情報を印刷している。当社製品はインクリボンを熱転写するタイプで解像度が300dpiとなっているが、顧客からより高精細な印刷を求められている。インクジェット式では作業工程の中で使用される薬品の影響でインクが剥離してしまう。薬品の影響を受けず、600dpiの高精細印刷が可能で且つ安価なレーザーマーキングユニットを製品化する。
4	常磐共同ガス 株式会社	分散型・自己利用型エネルギーシステム設備モデル運用に関する実証事業	現在、各地方で盛んに自己消費型エネルギーシステムが構築されている。地域の財産を有効活用し、災害時のレジリエンス強化を図ることが重要視される中、いわき市においても環境に配慮した分散型・自己消費型のエネルギーシステムを構築する必要がある。当事業は、昨年度当社小名浜営業所にて実施した太陽光発電設備・燃料電池・蓄電池を組み合わせた運用実証について、普及拡大のための一般住宅用データを蓄積し有効性を検証する。
5	株式会社 シンテック	体内固定ケーブルシステムの安全性及び信頼性向上のための改良改善	「体内固定ケーブルシステム」として薬事承認を取得後、およそ2年前から市場に導入された製品があるが、今までに、現場の医師（複数）から様々な声が寄せられている。それらを踏まえて、患者に対して、いっそう安全性が高まり、手術する医師にとって使い勝手の良い製品の改良を行う。
6	東北ネチ製造 株式会社	高信頼・高じん性風力発電タワー用アンカーボルトの研究・開発②	市場調査により、風力発電タワー分野への参入には、風車タワーフランジ用ボルトの製造に加えてタワー基礎部に使用するアンカーボルトの製造も必要となることが分かった。昨年度行った強度区分8.8 M36のアンカーボルトについては、大臣認定に向けた試験開発を進行中である。今年度は、M36より太径である強度区分8.8直径48mm以上のアンカーボルトおよび、強度区分10.9のアンカーボルトの研究・開発に取り組む。
7	トラスト企画 株式会社	酵母（分解菌）活用による生分解性プラスチックの分解促進技術の開発	廃棄されてしまう未活用資源（卵殻、コーヒー滓、おから、酒米、木粉等）と生分解性プラスチックを混練・特殊造粒を実施することにより、通常のプラスチックと同様に加工・使用でき、脱炭素化、海洋プラスチック問題に寄与できる100%生分解性の材料の製造が可能になった。本事業では酵母を活用した生分解性プラスチックの分解促進技術を開発し、用途拡大、高付加価値化、他素材との差別化を行う。
8	株式会社 日本海水	水酸化マグネシウムの新たな用途開発	弊社小名浜工場では、海水中のマグネシウムを原料として、水酸化マグネシウムスラリーを製造している。主な用途としては石炭火力発電所の排煙脱硫に用いられている。近年、政府の脱炭素化方針もあり、排煙脱硫用途での需要は、今後、減少傾向に向かうと予想される。本事業は、水酸化マグネシウムスラリーを乾燥した粉体品をベースに、マグネシウム化成品としての原料供給又は自社にて最終製品の開発、製品化を目指す。

※委託費は、8件合計で約2,200万円（税込）です。